

安芸太田町第二次安芸太田町長期総合計画第1回審議会 記録

日 時 平成31年2月5日(火) 10:00~12:00

場 所 本庁東館2階大集会室

参加者 別紙名簿

1. 開会...町長あいさつ
2. 辞令交付...代表者1名に交付
3. 会長及び副会長選出  
会長...伊藤委員  
副会長...清胤委員
4. 諮問
5. (1) 長期総合計画後期基本計画策定方針... 事務局説明  
・第二次安芸太田町長期総合計画後期基本計画策定方針 資料3

委員から出た主な意見

- ・町民の意見を取り入れて計画を作成していくとのことだが、実際どういうプロセスで何を取り入れていくかが設計されていないといけない。
- ・策定スケジュールで、第二次長計が平成27年度に策定され、平成31年度が中間期になるが、この中間期の結果・反省は、このスケジュールの中でどの辺りで示すのか。  
年度末が終わり概ね7月末までに各施策点検をし、その内容を「まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」で報告し、9月の議会でも報告する流れである。平成30年度までの施策の中間報告、評価については、8月の審議会の際に示す予定である。
- ・審議会は今回含めて5回程度開催される予定だが、資料は約1週間前に各委員の手元に届くように配慮してほしい。  
そのように取り扱う。
- ・スケジュールを見たが、本気でこれを考える場合に、間が空いたような感じのスケジュールで本当に策定していけるのか不安である。  
今後は、町民参加のWSや地域懇話会に町の職員も参加し町民と意見交換をする機会を設ける。  
町民の意向などを反映させた計画の素案を審議会に提案する予定である。

(2) 安芸太田町の現状等 ... 事務局説明

- ・安芸太田町の現状等 資料4-1 資料4-2

(3) 住民アンケート調査について ... 事務局説明

- ・住民アンケート調査について 資料5

委員から出た主な意見

- ・アンケートの中で住まいの地区(加計、筒賀、戸河内)を聞いているが、何のために地区を聞くのか。安芸太田町は一つになろうとしているときにこの問いが必要なのか。  
アンケートの調査対象者を抽出する際に、各地域ごとに偏りがでないように設定することとしており、統計整理上地域の項目を入れている。
- ・アンケートで、取組みについて把握しておらず判断できない場合、「判断ができない」という項目があ

ると回答しやすい。

5年前との比較が困難になるため、その設問を設けないことにした。

- ・アンケートの表紙について、思わず答えたくなるような表紙づくりをお願いしたい。また、アンケートの内容は「どうしてほしいか」「どう思うか」だけではなく、「あなたは何かができるか」ということを問いかけるような設問を提案する。
- ・UIターンで来た方に、地域の方や地域の会長が訪問し、コミュニティへの参画を促してほしい。
- ・町内在住の16歳から18歳のアンケート用紙は、たくさんのアイディアが書けるように最後の設問の枠を広げてほしい。
- ・今バイオマス事業が一番発展、発達しているので、これを活用して地域の活性化につなげることができたらと思う。人口が減っているが、地域にそうした産業を発展させることによって若者が入ってくるのではないかと。
- ・人口減少は否めない。少人数になるという覚悟が必要だと思う。若い世代がここで生きていきたいと思うような町づくりをしていきたい。
- ・絵に描いた餅ではなく、皆が一緒になっていい安芸太田町を作れるような計画をお願いしたい。
- ・定住対策で地域間競争が始まっている中で、これまでにない発想で、新しい安芸太田町を作る非常に重要な後期の計画になる。
- ・過去5年間の検証というのは大切である。検証して反省を踏まえながら子どもたちが帰ってくるような町づくりを一緒に考えていきたい。
- ・安芸太田病院でも医者不足が進行しており、医師、医療スタッフの確保に苦労している。ただ、県も安芸太田病院がこの地域になくはならない病院と感じており、いろいろ支援を申し出ている。
- ・アンケートで、旧芸北町は安芸太田と生活圏域が一緒であるため、旧芸北町や湯来町の一部等の住民の意見を取り入れることができないのか。また、成人式で集まった町外の成人と同様に町外に転出した人たちの意見を集めることができればいろいろデータがでてくるのではないかと。  
旧芸北エリア、旧湯来エリアの方々の意向調査は工夫する必要があるので検討する。町外へ転出した方の意見は全てではないが転出アンケートということでその都度もらっている。この内容を報告する機会を設けたいと思う。
- ・学校教育環境については、各教室へのエアコン設置や、今年度はICTの整備など、近隣の町や市の子よりもいい環境である。また、東京に修学旅行へ行き、自分たちが豊かな自然の中で育まれてきたことを改めて思い返していた。いろんな経験をさせることができる学校教育の環境は誇るべきものだと思う。これも町外から人を呼んでくる一つの力になるかと思う。
- ・民泊できた生徒たち等の中には、また遊びに来る子どもたちや、また来たいと言う外国人もたくさんいる。一方で今回アンケートを見た中で、今住んでいる子どもたちや、町外へ出た成人の方等、安芸太田町に帰らない、と答えている方も多くいるという現状がある。現在住んでいる方が安芸太田町に戻ってきたいと思えるよう町、戻ってきたいと思った時に戻ってこられる町であるためにこの地域づくりに取り組みたいと感じた。
- ・私自身生まれは市内だが、子育て環境や、医療制度等、市内にないものが安芸太田町にある。安芸太田に住むメリットを周りに勧めてはいるが、声が届かない親御さんも多い。わくわくフェスタや、町のまつり等、催し物などで情報発信していきたい。
- ・後期の基本計画に実施計画がぶら下がると思うが、実施計画を進める上においてはこの計画に基づいて予算をつけてもらいたい。
- ・この種の会議は若者だけに目がいく。本町は後期高齢者が約50%いる。後期高齢者の方を大切にする、障がい者が希望を持てる町、なおかつ、生活困窮者が明るい気持ちで生活できる環境を整える政策を実行してもらいたい。
- ・安芸太田町は健康の町宣言をした町なので、住民の健康づくりに目を向け、年をとっても元気で生き生きと暮らせる町、そうした一つの魅力を持った町づくりに向かっていってもらいたい。

## 6. その他...会長より二点確認

- ・審議会条例第6条、「この審議会には必要に応じて部会を設置する」という条項がある。必要になればこの審議会に諮って目的に応じて設置して良いか。  
異議なし

- ・この審議会の公開について、行政が行う会については公開が原則である。審議会については通例と同じように全て公開としたいが良いか。

異議なし

事務的な協議を行う場はどうか。公開するかあるいは内容に応じて一部は非公開で行いその経過等を広報するということもありうるが意見はないか。

会長、副会長の判断に任せる。

公開によって何らかの不利益等をこうむる事態が起こらない限り原則公開ということであるので、必要があればその都度委員に諮りその場で決めるということが良いか。

異議なし

7. 今後のスケジュールについて ...事務局説明

8. 閉会 (12:00)